

\*\*\*\*\*

## 第 96 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

XCVI Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

\*\*\*\*\*

日時:2016 年 3 月 5 日(土) 10:30 - 12:30

場所:関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1401 教室

担当者:柳田玲奈

「講読:La nueva gramática básica de la lengua española 第 2 章『語』 2b 語類・語種 第 9 節『冠詞』 pp.89-96」

\* Fecha y hora: sábado, 5 de marzo de 2016, de 10:30 a 12:30

\* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1401

\* Encargada: Reina Yanagida

\* Lectura de la “Nueva gramática básica de la lengua española: Apartado 9 “El artículo””

\*\*\*\*\*

### 『スペイン語新文法 (基礎編)』

### “9. El artículo (冠詞)”

内容を確認しながら、参加者たちが実際に授業で扱う場合に困難を感じている部分や理解が不十分であると感じる点を中心に議論した。

以下に、適宜注釈を加えた内容のまとめと、担当者が用意した資料と、参加者が着目した点などを順に記録する。

#### I : 内容

#### 1. 定義

冠詞は、当該名詞句の意味の広がる範囲を決め、その名詞句の文脈に登場させたり文脈の中で特定する働きを持つ限定詞である。

#### ■ 分類と変化表

		定	不定
		聞き手から特定可能だと 思われるものについて言う	新しいものを話に導入する
単	男性形	el	un
	女性形	la, el	una, un
	中性形	lo	
複	男性形	los	unos
	女性形	las	unas

## ■ 特性

- a) 位置：名詞、および数詞を含めた名詞の修飾語の前に置かれる。ただし **todo** は除く。
- b) 強勢：定冠詞は無強勢で、後に来る強勢語と一緒に強勢句を作る。不定冠詞は普通、強勢がある。

## 2. 特徴

### ■ 冠詞の女性形

強勢のある/a/で始まる名詞につく場合、el / un になる。

ただし冠詞と名詞の間に形容詞などが挟まっていれば変化しない。( la majestuosa águila / una filosa hacha )

省略される場合も el は使わない。( El ansia de placeres es tan perjudicial como la de dinero.)

例外

- a) アルファベット名：la a, una hache
- b) 女性の姓名：La Ana de mi oficina es una Ávalos.
- c) 会社名や女性名詞が核となる頭文字語：la Alfa Romeo, la AUF (A は asociación)
- d) 男女共通な名詞：el árabe / la árabe
- e) 職業を表す新しく作られた職業名：la árbitra

### ■ 縮約形 al と del

避けられるべき例

- a) 固有名詞や作品名に冠詞が含まれている場合：la pintura de El Greco
- b) 冠詞が正式名に含まれる国名：viaje al Río de la Plata / la población de El Salvador
- c) 括弧つきの場合：La lectura de “El Cristo de Velázquez”

オリジナルでは強勢のある/a/で始まるが合成や派生することで強勢がずれてそこに強勢が置かれなくなる場合、やはり la / una を用い、el / un には変わらない。

## 3. 定冠詞

### ■ 全般的意義：特定可能なものに言及

単数では、ある領域の中で唯一のものに言及する。Fui a la boda.  
もともと唯一であるものにも定冠詞をつける。el sol, la luna

例外：un sol de justicia / otra noche sin luna

複数は、その文脈において特定可能な一連の要素を限定する。

#### ■ 前方照応的用法

定冠詞のついた名詞句は、すでに話に出てきたものと結び付けられる。

#### ■ 直示的用法

対話者たちから物理的に近くにあるもの、あるいは時間的に近い時を指す。Prohibido pisar el césped. Llegó el lunes.

#### ■ 所有詞的意義

体の一部や能力を表すような名詞句に定冠詞がつくと、所有を示す。Apretaba los labios. 持っていて当たり前というようなものの所有も表す。Se nos quemó la casa.

#### ■ 中性の冠詞 lo

中性名詞はないので、名詞につくことはない。

a) 指示詞 lo：無生物の特定物を表す名詞句につく。No me gusta lo que pinta este artista.

b) 強調の lo:que 節の前について、形容詞や副詞の程度を表す。¡Lo difícil que es este problema!

### 4. 不定冠詞

#### ■ 不定冠詞と初めての言及

事前に言及のないもの、あるいは知られていないから特定できないものを示す。そのため、あるものについて初めて言及する際によく用いられる。

#### ■ 評価の用法と強調の用法

不定冠詞をつけることで、話者の評価を表現することができる。Pregunta usted unas cosas tremendas. (=¡Qué cosas pregunta usted!)

これは「強調の un 構文 construcciones de *un enfático*」と呼ばれる。

この際、中断のイントネーションを用いる場合以外は、名詞の修飾語が必ず必要。つまり、¡Hace un calor...! は OK だが、\*Hace un calor. はダメ。

しかし不定冠詞に続く名詞自体が賞賛の意味を持っていたりする場合は、修飾語なしでも OK。

Ese chico es un genio. / una maravilla de mujer

## 5. 不定冠詞とその類似要素との関係

### ■ 冠詞 UN / UNA と不定代名詞 UNO / UNA

#### ・カテゴリーの違い

UN : 不定冠詞      UNO : 不定代名詞

中性の不定冠詞はないが、代名詞はあり、熟語などで使用される。Salir a la calle y verlo fue todo uno. < ser todo uno

#### ・用法の交代

名詞としても形容詞としても使用できる語は、不定冠詞とも不定代名詞とも結びつくことができる。名詞なら前に un を付けられるし、形容詞なら uno を修飾する。

Estaba hablando con un extranjero. / Hay varios jugadores nacionales y uno extranjero.

女性形は不定冠詞も不定代名詞も UNA なので、対比がない。

una francesa / una [muchacha] francesa

#### ・統語的特性

a) 不定冠詞 un に関係節、前置詞句、部分を表す構造は続けられない。

不定代名詞 uno は OK。

b) 冠詞は代名詞と違いそれだけで名詞句を作ることができない。

### ■ 不定冠詞と数詞

UN / UNA は数詞と共通。

他の数詞と結びついている場合、solo や único の前についている場合 → 数詞と判断  
それ以外の多くの場合

a) 文脈により判断。Estos documentos no caben en un cajón. ひとつの引き出しには入らない  
(数詞) / Estos documentos estaban en un cajón. ある引き出しの中にあった (不定)

b) 初めての言及か不可算名詞の場合、数詞とは判断されない。Tuvieron una buena idea. (初出)  
/ Se respiraba un aire muy puro. (不可算)

## 6. 存在を表す文脈での冠詞の用法

不定冠詞+名詞句の形で新しいものを話に登場させるものを predicados presentativos と呼ぶ。  
存在を表す動詞 (haber, existir, ocurrir, tener) が使われる。

## 7. 総称を表す冠詞の用法

個別のものでなく、種類の総称を表す名詞句 grupos nominales genéricos

La gaviota se alimenta de peces.

定冠詞（単複）にも不定冠詞（単）にもこの用法がある。

El perro ladra. （特定の解釈）→近くにいるある犬  
（総称的解釈）→種の特徴

El perro ladró.（動詞が点過去）の場合は特定の解釈しかできない。

## 8. 無冠詞の名詞句

### ■ 意味的構造と解釈

限定詞のつかない名詞句は「裸名詞句 grupos nominales escuetos」と呼ばれることがある。

¿Bebes agua fría?

不特定で、普通はその種や分類を表す。

固有名詞と人称代名詞には限定詞がつかないものだが、これらをこの無冠詞名詞句には含めない。

名詞句の核として、不可算名詞なら単数、可算名詞なら複数の要素をもつ。 Compran oro. / Solicitan violinistas.

可算名詞で単数というのは非常にまれである。ただし熟語や社会習慣を表す表現などに出てくることはある。 No tener corazón. / Tiene perro.

### ■ 無冠詞名詞句の統語的機能

- a) 主語。動詞の前でも後でもかまわないが、動詞の前に来ることは非常に抵抗がある。しかし特殊な文脈では可。 Alcalde desobedece una sentencia.（ニュース） / Secreto entre tres ya no lo es.（ことわざ）  
動詞の後なら、特に受身で（Se reparan relojes.）、あるいは非対格自動詞と（Falta café.）、または位置を表す本来的自動詞と（Aquí viven familias enteras.）共起する。
- b) 直接補語。 Trajo manzanas.
- c) 被制辞補語。 Se trataba de niños superdotados.
- d) 特に等位表現の、間接補語。 Vende sus fotografías a periódicos, revistas, agencias y televisiones.（→revistas 以下がなくても無冠詞??）
- e) 属詞。 Es maestro.
- f) 場所（その場で行われる活動も含めて）を表す補語。 Asistieron a clase de matemáticas.
- g) 様態の補語のうちいくつか。 Se reunirán en comisión.（委員会という形をとって集まる）
- h) 特に特徴を示す場合の、名詞の補語。 una mesa de despacho  
ほぼ語彙化した表現であることもある。 campo de fútbol
- i) 呼格。 Niños, ¿cuántos son ustedes?

## Ⅱ：資料

いくつかの初級スペイン語教科書において、冠詞が紹介される課とそれに続く課に載っている例文やスキットや練習問題の中から、説明に苦労しそうなものを抜粋。

- Aquí hay un café. / Allí hay un hospital. / Ahí hay unas estudiantes. (すべて「ひとつ」「何人か」のように訳していい?)
- Un bolígrafo, dos gomas y cinco cuadernos, por favor. – Un momento, por favor. (前者は数詞として「ボールペン1本」、でも後者は「ひとつ」とは訳せない)
- El coche es de José. (この定冠詞は「その」と訳しても問題ないが・・・)
- Los zapatos marrones son de Italia. (この定冠詞は「その」と訳しても問題ないが・・・)
- El padre de Rosa es ingeniero. (この定冠詞は「その」と訳さない)
- Esa chaqueta es un poco pequeña. (定冠詞を「その」と訳させていると、「そのジャケット」をスペイン語にする際に定冠詞と指示詞のどちらを使うかわからなくなる)
- Hay una fiesta en casa de Carlos. (定冠詞がついてもいいのでは?)
- Aquella chica de ojos azules es muy alta. (無冠詞でなければならない説明が必要)
- Los españoles son muy simpáticos. (総称を表す定冠詞)
- El tiempo es oro. (総称を表す定冠詞と、属詞の無冠詞)
- ¿Juegas al tenis? – Sí, juego al tenis los domingos. (スポーツには定冠詞、曜日に定冠詞をつける用法の説明が必要)
- A mal tiempo, buena cara. (ことわざだから無冠詞?)
- El suelo es de madera. (材料を表す無冠詞)
- ¿Hay bañera en la habitación? (無冠詞でなければならない説明が必要)
- ¿Puedo pagar con tarjeta? (無冠詞でなければならない説明が必要)
- En este bar, todos piden patatas bravas. (無冠詞でなければならない説明が必要)
- Yo no comprendo inglés. (無冠詞でなければならない説明が必要)

### Ⅲ：着目点

#### 1. 定冠詞と不定冠詞の説明

- 「特定」と「不特定」ではなく「聞き手から特定可能」と「新しいものを導入する」。

#### 2. 強勢のある/a/で始まる女性名詞につく el, un について

- 該当語のうち、西和中で赤字見出し語：acta, agua, águila, ala, alba, alga, álgebra, alma, alza, ama, ansia, área, arma, arpa, aula, ave, habla, hacha, hambre.
- árbitra は、もともと男性が主流だったから el árbitro しか用意されていなかったが、女性が増えてきたから la árbitro という形を経て la árbitra という形になったものか。そのような語は他にないか？

#### 3. 総称の用法について

- 定冠詞、不定冠詞、無冠詞のすべてに総称的意味の可能性はある。
- 文脈に依存するところが大きい。その文脈を読み取る力が必要・・・

#### 4. 無冠詞の機能について

- a~i まで9つの場合分けをして教えるわけにはいかない・・・

※ 教師も完全には分かっていないということを生徒にも理解させる!?

※ 説明して理解してくれる生徒もいるが、苦手、理解困難な生徒に「難しい!」「無理!」「嫌い!」という印象だけ残すということは避けたい!